

民主島根

2017年
8.6
第1293号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

中国ブロックいっせい宣伝 総選挙で安倍政権に審判を

岩田 衆院島根1区 予定候補、むこせ 衆院島根2区 予定候補 ら訴える



宣伝する(左から)尾村、吉儀、岩田、橘、田中の各氏ら(松江市)

中国地方の日本共産党は7月21日、衆院予定候補を先頭にいっせい宣伝に取り組みました。安倍政権を解散・総選挙に追い込み、野党共闘の成功、党の躍進で、国民の声が生きる政治の実現を訴えました。

岩田たけし島根1区予定候補は松江市の駅前大通りで、尾村利成県議、市議団と宣伝しました。

岩田氏は「都議選と同じように、総選挙で安倍政治ノアの審判を下し、野党と市民の共闘で国民が主人公の政治に転換しよう」と呼びかけました。若者から声援が送られました。

演説を聞いていた男性



「核兵器の禁止を」 国民平和大行進が県庁訪問

(31)は「安倍さんには辞めてほしい。支持率も下がっているし、(国民の)みなさんも同じ気持ちだと思いません」と語りました。

むこせ慎一島根2区予定候補は美郷町で宣伝し、「共謀罪」法や戦争法の廃止と立憲主義、民主主義の回復を訴えました。

原水爆禁止国民平和大行進(富山-広島コース)が7月21日、安来市から松江市に入りました。県庁を訪問した、通し行進者の山口逸郎さん(85)は「核兵器禁止条約が採択され、今回の行進を光栄に感じています。核兵器を廃止にしたいという願いを知事、県議会議長に届けて下さい」と訴えました。(写真)

応対した県総務部の野津建二次長は「憲法の平和主義は崩せない。若い人にも戦争のむごさ、核兵器の悲惨さを伝えていきたい」と話しました。西尾幸子さんは「知事

7月23日投票の飯南、美郷両町議選で日本共産党は2氏全員の当選を果たしました。

飯南町議選では伊藤好晴氏(65)が4期目の当選を果たし、美郷町では中原保彦氏(75)が12年ぶりに党議席空白を克服しました。

開票結果は次の通り。

【飯南町議選(定数10)】
伊藤 好晴(現)
341票・3位

飯南、美郷町議選で党躍進! 伊藤氏4選(飯南)、中原氏初当選(美郷)

【美郷町議選(定数12)】
中原 保彦(新)
223票・9位



中原保彦氏 伊藤好晴氏



全県議員団会議ひらく 広井が参加

日本共産党県委員会は7月26日、出雲市で全県議員団会議を開きました。(写真)21名の議員のほか、機関役員ら計31名が出席し、党活動や議会活動を交流しました。

党中央委員会の広井暢子副委員長が参加し、「かつてない安倍・自民党崩れが起き、一番の対決者の後藤勝彦県委員長が「第27回党大会決定」の全党員読みの推進や党勢拡大の前回総選挙時の突破を必ず成し遂げよう」と強調。「安倍政権を打倒するために今こそ強く大きな党をつくろう」と呼びかけました。

自治体部の尾村利成、大國陽介の両県議が国保の都道府県化、地域公共交通などについて報告しました。

沖縄連帯ツアー2017 日程もゆったり 観光もあります

- 9月12日(火)~15日(金)【3泊4日】
- 募集人員 20人(最低催行人数9人)
 - 参加費 82,000円(9人の場合)
 - 申込締め切り 8月15日(火)

主催:沖縄と連帯する島根の会
申し込み・問い合わせ先:中林(TEL:0852-25-5347)

鼓動

党創立95周年を迎えた7月、日本共産党中央委員会は「すべての党員のみならず、総選挙勝利をめざし強く大きな党をつくるため、ともに立ち上がることを心から訴えます」と呼びかけた。また、7月21日には、小池晃書記局長が残る10日間の奮闘を心から訴えた▼党勢拡大行動の中で、小池書記局長が「訴え」で紹介した「党員拡大について」支持者のみならずはどういう思いで共産党を応援してくださっているのか。その方の人生そのものを語り合う時間なのです」というくだりを実感した場面があった▼人それぞれに人生があり、なかには言うのもはばかられるような過去を持つ人もいた。一人ひとりに真剣に向き合った。この行動では党の仲間に加わって頂けなかったが、呼びかけただけでも成果だったのかもしれない。しっかりと対話しただけでも、次につながる成果なのかもしれない▼先日、「しんぶん赤旗」日曜版を購読してくださった飲食店に挨拶に行った。実はこの店は8年前、私が大学院に入りたての頃に浜田で初めて行ったお店だ。そこで私は失態をおかした。風邪薬を服用していたにも関わらず、お酒を呑んだため、ベロンベロンになってしまったのだ。あとで家族に聞いたら、私は深夜、「コイツはいい奴なんだよ」と大声で叫びながら家に帰ってきたとのことだった。ベトナム人と一緒に▼あの時、家まで送ってくれたベトナム人とはその後会えず、謝意を伝えることができていないが、7月31日、中原保彦美郷町議と70代の男性を党に迎えることができ、人生を一緒に語り合うことができた。(純)

「本気の共闘を」―県革新懇が総会

全国革新懇
代表世話人

五十嵐仁氏が講演

島根革新懇は7月22日、出雲市で第36回総会を開き、野党共闘の発展などをめざす活動方針を決めました。



全国革新懇代表世話人五十嵐仁氏が講演し、都議選の結果について「暴走・逆走への（都民の）怒りのマグマが噴き出した」と強調。安倍政権の9条改憲への最初の審判が下され、内閣支持率も低下しているとし、「潮目が変わってきた。今こそ互いをリスケットする本気の共闘をすすめよう。そのためには怒りとともに笑いを。多色刷りの運動を」と呼びかけました。その上で「70年かけて実現した自由で民主的

島根原発再稼働反対！

「金曜日行動」が5周年迎える

県庁前で7月28日、5周年となる214回目の金曜日行動が行われま



5周年に参加者全員で記念撮影

「島根原発再稼働反対」とコールし、中国電力島根支社までパレードしました。海外からの観光客や遊覧船から手を振る人が見られました。リレートークで参加した11人全員が訴え、「地震大国の日本で原発はあってはならない」「廃炉まで行動をあきらめない」などと訴えました。

地域の話題 アッコ

交通手段の確保を 後藤議員が要求

後藤議員―買い物や病院に行く手段がなく、困っている方がたくさんいる。要望を丁寧に聞き、必要な交通手段を検討する住民参加型の組織が必要だと思うが、いかがか。

部長―現在、バス路線ごとの運行協議会が12あり、自治協会、コミュニティセンター、社会福祉協議会など団体のほうで構成して利用促進などについて協議中。また、現在、バス利用の実態調査にも取り組んでいる。

後藤議員―高齢者も

外出は生活の中での楽しみでもあり、バスに乗れない方の声を丁寧に汲み取り、どこに住んでいても行政サービスや生活の質が落ちないようすべき。（「どう由美の市議会報告」より）

石見銀山記念式典
福田議員が出席

石見銀山の世界遺産登録10周年記念式典が7月2日、あすてらすで開催され、福田佳代子市議が出席しました。「石見銀山遺跡とその文化的景観」は2007年6月28日、イコモスの「勧告（登録延期）」を覆して世界遺産となりました。

道の駅整備事業 実態調査すべき

益田市道の駅整備検討委員会」の整備基本構想（案）では「市民の自慢の食がたぐなぐ新たな交流拠点」と位置づけ、整備候補地については「高津ICから久条IC間の主要道路隣接地が候補地

この日は改めて喜び合い、遺跡を守り保存してきた努力を称え合いました。日本共産党市議団も議会でも「全市民が宝物として誇りに思ってもらえるような施策を取るべき」と力を尽くしてきました。

式典ではオペラ「石見銀山」が上演され、出席者はオペラと神楽、合唱団の共演に酔いしれました。（「大田民報」より）

閉会后、会場を出たところで、被爆者のサロー節子さん、藤森俊希さんのお話をあらためて聞き、がっちり握手もさせていただきました。（写真左）

「亡くなった被爆者の仲間たちにも『やっとな条約ができたよ』と伝えたい」（サローさん）、「ヒバクシャ国際署名を開始して1年。条約ができるとは思ってもみなかった。世界もみなさんに感謝したい」（藤森さん）などと喜びを語るとともに、「世界は日本政府に不信を強めている。ここに来てみんなの話を聞かずにどうして橋渡しができるのか」（サローさん）、「日本政府の態度には、はらわたが煮えくり返る思い。政府代表は3月に『ここでは誠実に建設的な議論ができない』と発言して会場を後にした。より

「核兵器禁止条約」の 国連会議に参加して

～大平よしのぶ 衆議院議員 手記(下)～

広島出身の日本共産党国会議員として、被爆者や世界からの参加者の一言一言を胸に刻み、条約が持つ法的規範の力にしっかりと依拠しながら、被爆国・日本の政府の姿勢を変えていき、また、安倍政権を終わらせ、新しい野党と市民の共同による「非核の政府」をつくっていく国会内外のたたかいへと、その先頭に立つてがんばる決

原水爆禁止世界大会

- 世界大会―広島
8月6日（日）13:00～15:30 ヒロシマデー集会
19:30～20:30 とうろう流し
- 世界大会―長崎
8月9日（水）10:30～13:00 ナガサキデー集会
14:00～15:00 ヒバクシャ国際署名宣伝

意です。改めて、送り出してくださった関係者の皆さんに心からのお礼を申し上げます。ありがとうございました。（終わり）

アイルランド政府代表やアメリカで反戦平和活動に取り組む青年団体などと懇談する大平氏（写真左）